

性暴力の被害者にも加害者にもならないために

知っていますか
「性的同意」

同意がない性行為を犯罪として法律で処罰する国が増え、日本でも刑法改正の議論が高まっています。

例えば、「二人きりで食事したから」、「相手の家に行ったから」、「夫婦や恋人だから」、そうした理由で性行為を強いられても仕方ない、と思っていないですか。

あなたと、あなたの大切な人の安全と尊厳を守るため、性的同意について正しく知りましょう。

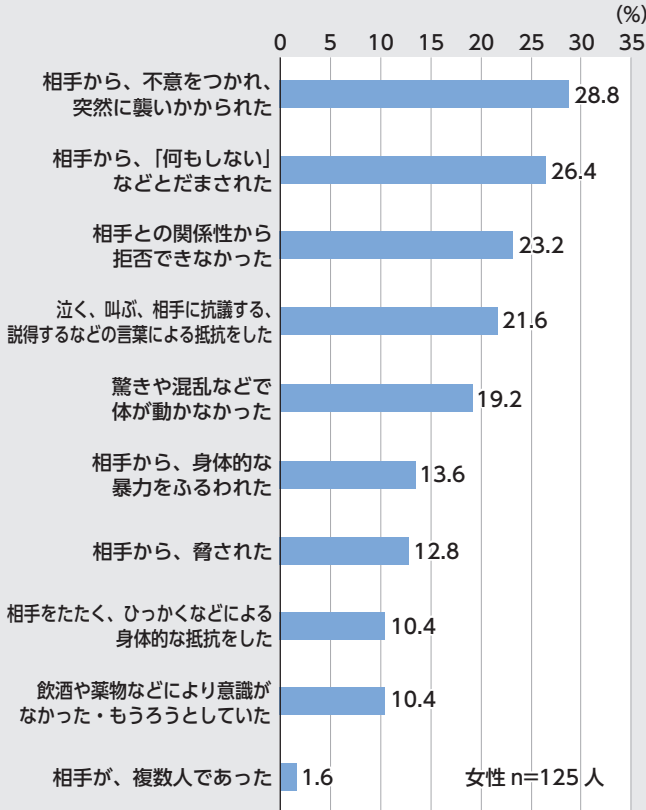
性的同意とは

性にまつわることについて、曖昧にせず、言葉によるコミュニケーションを取り、相手の意思を確認することです。

性暴力の誤解と実態

内閣府の調査では、女性の約14人に1人は、無理やり性交などをされた被害経験があることが分かっています。見知らぬ人からの被害はごくわずかであり、加害者の大半は交際相手・元交際相手、配偶者・元配偶者、職場・アルバイト先の関係者などの知り合いであるといわれています。恋人や夫婦間であっても、望まない性的な行為は、全て性暴力です。

被害にあったときの状況（複数回答、抜粋）



(参考 内閣府「男女間における暴力に関する調査」(令和3年))

こんな思い込みしていませんか



相手が否定していても、「嫌よ、嫌よも好きのうち」ってやつじゃない？

社会的地位（教師や上司や力関係）、暴力、脅迫のために否定できなかったケースが多く見られます。



お酒を飲んで酔っていたら、仕方ないこともあるよね？

お酒や薬物で意識がもうろうとなっていた場合、それは明確な同意とはいえません。